

1. DXハイスクール 取組事例【情報科】



大分県立情報科学高等学校
(公立・工業・商業・情報)

デジタル×ビジネス・モノづくりで新たな価値を創造するデジタルメディアラボの開設
デザインシンキングを活用し、主体的に思考を深める学習プログラム

取組

デジタルエンジニアのためのデジタルメディアラボの開設

高度なデザイン処理が可能なiMacを活用した、独創的な思考力と実践力に加えユーザー目線を持った、**UXデザイナー***の育成

実習案 対象科目「情報デザイン」「コンテンツ制作と発信」「課題研究」等

①デザイン開発、ブランディングの実践

パッケージデザインやロゴ開発などトータルブランドデザイン制作。ブランディング学習。情報デザインにおいてブランディングを意識したパッケージデザインやロゴ開発などの実習でイラストレータを活用。

②デジタルコンテンツにおけるソーシャルメディア戦略

学校パンフレットの自主製作や様々な広告媒体における情報発信の実習。デジタルコンテンツ制作実習やメディアの効果的な活用手法の習得。

③UXを意識したものづくりやサービス開発

3Dプリンタやレーザーカッターによるユーザー視点に立ったものづくりやアプリ開発実習。

*UXとは、ユーザーが製品やサービスを使った際に得られる体験のことを指す。UXデザイナーは、このユーザー体験に焦点を当て、「使って楽しい、心地いい」と思われるデザインをつくることを専門とする。

デジタルとビジネスを融合できる人材の育成

デザインシンキングの手法や生成AIを用いた実践型ものづくり(アイデアづくり)プログラムをとおして**デジタルとビジネスを融合できる人材を育成**

◇先端技術を知り活用する

Jetson nanoやJetRacerを活用したAI技術の習得と活用。
企業と連携したAIビジネス活用特別講座。

◇デザインシンキングによる課題解決型学習

1年次の総合的な探究の時間から2・3年次の課題研究までの3年間を見通した課題解決型学習の中でIoTとビジネスの融合について学習。

【イメージ】



※工業、商業科目と連携した取組

実践講習会（生徒向け）・活用講習会（教員向け）の実施

★★ 生徒・教員共に、即活用できる今必要な実践的講習会や研修会を実施。デジタルを活用する基盤となる知識やパテント講習にも重点を置くことで、発想に制限のないデジタルものづくり、情報づくりにつなげる。

育成する生徒像・取組による効果



多様なものの見方や考え方を有し、幅広い知識と教養を身につけ、自由な発想とアイデアをデジタルと結びつけることで有効に活用できる能力・資質の育成し、多方面にわたり地域を支えることのできるデジタル人材の育成

情報Ⅱの内容を含む職業系教科・科目の履修率

(令和8年度目標値 **60%**)

大学理系学部・情報系学部率増加 (令和10年度目標値 **15%**)

2. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組①



デジタルエンジニアのためのデジタルメディアラボの開設

◇デジタルエンジニアの育成(デザインPCの導入による)

- ・ビジネスおよびマーケティングの知識を活用し企業と連携したデザイン学習およびブランディングの実践
地域企業の広告戦略を担うラッピングバス
売れるパッケージデザインと販売広告の制作
- ・デジタルコンテンツの作成実習とソーシャルメディアの効果を活用した実践
Webデザインとソーシャルメディアの効果を学習し、企業と連携した効果的な情報発信の方法を学習する
＜協力企業 5社＞
- ・ユーザーの視点に立ったものづくり、サービス開発(アプリ)の実践
課題解決においてUXやUIの知識を身に付け、使う人をイメージしたサービスの開発
＜協力企業 6社＞

既設の実習室(通称コミュラボ)と新設するデジタルメディアラボの融合により、新たな価値を生み出す



補助金を活用する経費

- ・企業技術指導経費(旅費・謝金)
- ・営業活動費用(使賃料)
- ・活動成果報告会(使賃料)

育成する資質能力

すべての取組において、企業と連携し広告戦略、コンテンツ制作、マーケティング、UXなどの基本を学習し、自身の学習成果を企業への営業活動に発展させることで実社会に必要なコミュニケーション能力やプレゼン能力を身に付ける。

＜活動の流れ＞

知識の習得－技術の習得－営業活動(交渉)－仕事の受託－成果物

3. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組②



デジタルとビジネスを融合できる人材の育成

◇先端技術を知り活用する

既存の設備（JetRacerやJetson nano）によるAI技術の習得と活用への発展学習

「課題研究」、「実習」におけるアプリ開発

◇デザインシンキングによる課題解決型学習

1年次の総合的な探究の時間から2・3年次の課題研究までの3年間を見通した課題解決型学習の中でIoTとビジネスの融合について学習。

<学習内容>

・AIビジネス活用講座

AIを活用して「考える」「伝える」を学ぶ基礎講座から「バイアス」を理解し、正確に物事を捉え、正しく伝えることを体験する発展講座。プレゼン力の向上や生成AIの効果的利活用（プロンプトの作成）にもつなげる。

・課題研究

1年次よりデザインシンキングを用いた課題解決に取り組み、2年次で課題解決を前提としたビジネスアイデアを創出する。

創出されたアイデアを企業にプレゼンするビジネスアイデア博覧会(商談)を実施 → 企業と連携してシステム開発やものづくりなどアイデアの実現につなげる。



補助金を活用する経費

- ・企業技術指導経費（旅費・謝金）
- ・営業活動、実地調査費用（使賃料）
- ・アイデア博覧会（使賃料）

育成する資質能力

1年次から実施しているデザインシンキングにより専門的な知識を加えることで発展的かつ実践的な課題解決に取り組む。その成果を外部企業に対しビジネスアイデア博覧会を実施することで実践的な情報活用能力と高いプレゼン能力を身に付ける。

4. DXハイスクール 取組事例（具体的な取組）

具体的な取組③



実践講習会（生徒向け）・活用講習会（教員向け）の実施

◇デザイン講習、ブランディング演習

<講習>

デザイン基礎、消費者心理、販促デザイン、アプリデザイン
ブランドの価値を高めるための基礎（心理的価値など）

UIデザインの基本

<演習>

ポスター制作などの広告戦略演習・パッケージデザインなどの
商品開発デザイン・店舗設計（レイアウト）や装飾。

CI（ロゴデザイン～企業ブランド戦略までのトータルデザイン）

・デジタルコンテンツ作成、ソーシャルメディア講習

・サービス開発、アプリ開発指導<協力企業6社>

◇その他教員講習会

・知的財産、著作権研修

・AI活用（生成AI活用含む）講座

プロンプト作成講座、授業活用研究ワークショップ←公開授業



補助金を活用する経費

- ・大学教員招聘経費（旅費・謝金）
- ・専門技術者（企業）招聘経費（旅費・謝金）

企業と連携することで、価値ある商品およびサービスの提案を目指し、即戦力のデジタル人材として地域に貢献できる能力と専門知識を身に付ける。

5. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第2学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月～ 12月	①課題研究における実践 各講座の実施(数回) ソーシャルメディア戦略講座 ブランディング演習 Webコンテンツ制作講座 アプリ開発演習 ビジネス基礎講座	①企業から外部講師を 招聘し各講座を担当	①ビジネスにおける専 門知識の向上とIT技術 の活用能力を身に付 ける
2月	② アイデアセールスエキスポ の開催 県内企業を招聘し、課題研 究の成果をポスターセッション で発表し、販売するセールス 会	②アイデアセールスエキ スポにおけるポスター セッション開催	②プレゼンテーション 能力の向上
年間	○「課題研究」 AIやアプリ開発の実践講座	○外部講師の招聘によ るセミナーを定期的に関 催	○ITの技術に加え、ビ ジネスとの融合を創造 する力を身に付ける

6. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



第3学年 年間の取組

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容	予想される成果
5月 ～ 12月	①「情報デザイン」 商品パッケージ提案とブランディングの実践 ②「コンテンツ制作と発信」 Webコンテンツ制作とPHP実習 ③「課題研究」 VR教材の作成 VR校内防災避難など	①②デザイン系PCを活用した作品制作およびコンテストへの出品。 ①②企業から外部講師を招聘した、デザイン講座・Web制作演習 ③VRゴーグルを活用した教材の作成	①②デザインやコンテンツにおける専門知識の向上と成果物による表現力の向上 ③問題解決能力、論理的思考力の向上
1月	④課題研究成果発表会 2年間の成果を保護者や地域の方々に公開		
年間	○ITのビジネスにおける実践的な活用について学ぶ。	○外部講師の招聘によるセミナーを定期的に開催	○情報活用能力の向上

7. DXハイスクール 取組事例（年間指導計画）

年間指導計画



教職員の年間計画

時期	取組	補助金を活用して 実施する内容
7月	〇AI(生成AIを含む)の活用について学ぶ Part1	DXアドバイザーを招聘した研修
8月	〇デザインおよびコンテンツ制作(写真撮影技術など)研修	デジタルバンク(県内企業)を招聘した研修
12月	〇AI(生成AIを含む)の活用について学ぶ Part1	DXアドバイザーを招聘した研修
年間	〇デザイン系PC活用技術指導のための 教員研修実施	〇DXアドバイザー、ICT支援員および 外部講師による定期的な講習・研修